

就業力育成支援カリキュラムを構築します

2010 年度文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」GP に採択されました

本事業は、「大学生活・社会人生活を含むライフステージに不可欠な能力・基礎的素養」を「**根力(ねぢから)**」と定義し、その育成を支援して「就業後に光る人材」を育成することを目的としています。**単なる就職試験対策支援ではありません。**

この目的を実現するために、従来の大学教育に加えて「**学生の自発的学びを後押し**し、社会で活躍する為の基盤となる能力=根力を育成するための、就業して役立つ実学的専門教育を含む体系的なカリキュラム=**根力育成プログラム**」を、全学的に構築・展開します。具体的な内容・実施体制は以下の通りです。

(1) 内容：養成－強化－実践の3段階からなる「根力育成プログラム」（下図）を構築します。これらを下支えするものとして、並行して以下の5項目の事業を展開していきます。本事業は2014年度を完成年度とし、外部評価を実施した上で2015年度以降も継続して行きます。

- ①根力の構成要素の継続的な検討、並びにそれらへの効果的な教育内容・教育方法の研究・実践
- ②PBL（課題対応型学習：Project Based Learning）技法の導入
- ③学生一人一人の学習過程を教職員・学生自身、更には地理的に分散している部局間でも共有するための電子ポートフォリオシステムの導入
- ④学生同士の相互教育体制（教育体制の循環）を構築するためのステューデントアシスタント（SA）制度の構築

⑤従来、各部署が個別に行ってきた学生支援等諸業務のパッケージ化の促進

(2) 実施体制：大学教育センターをまとめ役として全学的にプログラムを展開し、実践していきます。

既存のカリキュラムと根力育成カリキュラムの関係										
1年前期	既存のカリキュラム	根力養成プログラム								
1年後期										
2年前期										
2年後期		根力強化プログラム								
3年前期										
3年後期										
4年前期		根力実践プログラム								
4年後期										
根力(ねぢから)育成プログラム										
各期の全学目標										
第一段階	学生の自発的学びを後押しし、社会で活躍するための基盤となる能力=根力を育成するための土台を築く フレッシュマンゼミナール： 高校生から大学生へ キャリアアップ科目群： 自らの方向性を確認して次の段階へ			根力養成プログラム						電子ポートフォリオにより、入学～卒業までの学生一人一人の学習過程を、教職員・学生自身更には地理的に分散している部局間でも共有
	1年	必修	4	フレッシュマンゼミナール						
	2年前期	選択必修	2	キャリアアップ科目群						
第二段階	根力強化プログラム： 座学と実地体験を通じて社会人として要求される能力を理解・養成する			根力強化プログラム				スキル養成プログラム（教育課程外）		
	2年後期～3年前期	選択	4	「社会人・卒業生による講義を聞く」「社会人・卒業生と話す」「企画・プレゼン・コンペを自ら行う」「イベントを運営する」「インターンシップを行う」等				「情報系」「語学系」「公務員系」等、予想される学生のニーズに合わせて提供		
第三段階	実際の活動を通じて、これまで培ってきた力を確認し、不足点を自覚して、自らを高めて行く			根力実践プログラム						
	3年後期～4年	選択	2	「就職センター主催の各種就職イベント参加と事前準備・事後レポート」「実践・SAとしてのリーダーシップ」「同窓会/地域との連携企画(入学式・新入生ガイダンス・新歓祭・OC・茨苑祭・卒業式等を活用)」等						